

『イオン エコワングランプリ』 高校生特別交流事業を実施

公益財団法人イオン環境財団（理事長 岡田卓也 イオン株式会社名誉会長相談役 以下、当財団）は『イオン エコワングランプリ』の特別交流事業として、沖縄が抱える「赤土等流出問題」について、青森県立名久井農業高校と沖縄県立辺士名高校の生徒が、一緒に考えて行動する活動を、5月28日（土）～29日（日）に実施いたします。

『イオン エコワングランプリ（以下、本グランプリ）』は、環境啓発事業の一環として実施しており、昨年で第10回を迎えました。本グランプリでは、高校生が日々取り組んでいるエコ活動の優れた事例を顕彰するとともに、環境活動がより多くの学校や地域に広がっていくことを目的としております。これまでもワークショップなどを通じて、高校生同士の交流を図る『エコの環』スクールエリアミーティングを各地で実施してきました。

今回の活動では、日本の伝統技術・^{たたき}三和土による土壌流出対策に取り組む活動で第9回グランプリ環境大臣賞を受賞した青森県立名久井農業高校の生徒と、日頃、赤土等流出対策に取り組む沖縄県立辺士名高校の生徒が、交流しながら現地で実践し、地域の環境課題の解決を目指します。

【活動概要】

- 日 時 : 2022年5月28日（土）15時～18時、 29日（日）9時～10時45分
内 容 : 28日（土）農地で三和土設置（東村字平良宇出那覇原380-11）
29日（日）沖縄県立辺士名高校にて赤土流出防止についての交流会
（〒905-1304 沖縄県国頭郡大宜味村字饒波2015番地）

- 参加者 : 青森県立名久井農業高校の生徒2名、沖縄県立辺士名高校の生徒10名
主催 : 公益財団法人イオンワンパーセントクラブ・公益財団法人イオン環境財団
共催 : 毎日新聞社
協力 : NPO法人おきなわグリーンネットワーク



青森県立名久井農業高校での
三和土設置の様子



沖縄県立八重山高校との交流会
（オンライン開催）



石垣島での三和土設置の様子

ご参考

【イオン エコワングランプリ】

高校生の優れたエコ活動を顕彰する『イオン エコワングランプリ』は、環境活動に取り組む全国の高校が成果発表と情報共有を行う場です。地球の未来を担う若者たちが、環境問題について考え行動するきっかけとなることを願い、2012年にスタートしました。これまでの参加校は1,165校で、『エコの環』スクール登録校は360校となりました。

概要 ※第10回イオン エコワングランプリ開催時

主催： 公益財団法人イオンワンパーセントクラブ

共催： 毎日新聞社・公益財団法人イオン環境財団

後援： 内閣府・文部科学省・環境省

協力： 全国高等学校長協会・公益財団法人産業教育振興中央会

特定非営利活動法人持続可能な開発のための教育推進会議 (ESD - J)

ESD 活動支援センター

◆募集内容

高校生が学校として取り組んでいる「環境保全活動」全般

◆応募資格

日本国内の全日制、定時制高等学校で、授業および学校が承認しているクラブ活動（サークル・部活）の取り組みを対象とし、学校単位での応募とする。複数応募可

◆応募部門

普及・啓発部門……誰でもどこでも取り組むことができる普及性の高いエコ活動

研究・専門部門……地域固有の問題に着目した専門性の高いエコ活動

◆賞

内閣総理大臣賞（各部門 から各1校）

文部科学大臣賞（《普及・啓発部門》1校）

環境大臣賞（《研究・専門部門》1校）

審査員特別賞（複数校）

『エコの環』賞（複数校）

エコワン活動賞（複数校）

ベストプレゼンテーション賞（1校）

C.W. ニコル メモリアル賞（1校）

◆公式ホームページ

<http://www.eco1gp.jp/>



第10回最終審査会の様子（オンライン開催）